

平成29年度予算編成方針

平成29年度は、市制施行100周年という大きな節目を迎える。100周年記念事業の成功に向けて万全を期すとともに、更なる市政発展の契機として、夢と希望が持てるまちを目指した、攻めのまちづくりを推進していく重要な年である。

同時に、「八王子ビジョン2022」の中間年にあたることから、目標として掲げた指標の進捗状況を検証し、創意工夫を凝らし、目標達成に向けて取り組んでいく必要がある。また、「八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、「八王子ビジョン2022」の施策の一部をパッケージ化して示しており、分野や部門を越えて連携し、施策の統合化を進めることが重要である。

こうした状況を踏まえ、名実ともに多摩のリーディングシティにふさわしい都市として成長すべく、中核市の権限を最大限活用し、未来につながる魅力あふれる八王子の創造に向けたスタートとなる予算を編成する。

1 財政見通し

我が国の経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかに景気回復していくことが期待されている。「八王子ビジョン2022 アクションプラン」の歳入でも、市税について増収を見込んだが、市税収入は景気の動向に左右されやすく、海外経済の下振れなど今後の動向に注視が必要な状況にある。

一方、歳出においては、待機児童解消に向けた取組の充実、高齢者・障害者に対するサービスの確保などにより、保育運営費や障害者自立支援給付費等の扶助費や国民健康保険事業・後期高齢者医療・介護保険特別会計への繰出金といった社会保障関係経費が引き続き増加することに加え、本市の魅力を高めるためにこれまで準備を進めてきた大型プロジェクトが本格化する。こうした状況から、アクションプランでは、各年度において、財政調整基金を繰り入れる財源対策を行うこととしている。

2 予算編成の考え方

「八王子ビジョン2022」の都市像の実現に向け、アクションプランに掲げた事業を全て計上する計画主導型予算とする。ただし、アクションプランでは財源対策として、歳入において財政調整基金25億円の繰入れ、歳出において任意的経費（ ）の削減により収支の均衡を図っていることから、全ての事業について内容を精査し、聖域なき徹底した見直しを進める。

（ ）任意的経費とは、義務的経費（人件費・扶助費・公債費）及び固定経費（家賃・地代・債務負担解消分・繰出金など）を除いた経費

（1）市民の期待に応える実効性の高い施策と魅力あふれる八王子の創造につながる施策を展開していくため、限られた財源を有効に活用する創意工夫を凝らした見積りと着実な歳入確保を行うこと。

（2）今後の財政需要に備え、市税収入の増加に結び付く地域経済の好循環と交流人口の増加につながる施策を、効果的に推進する予算を見積ること。

以上を踏まえ、次に定める基本方針に従い、アクションプランに基づく一般財源を上限として、予算見積書を提出すること。

基 本 方 針

- 1 「八王子ビジョン2022 アクションプラン」に掲げた事業を確実に予算化すること。ただし、最少の経費で最大の効果を挙げられるよう、事業費の算定にあたっては、あらゆる視点からの検討・検証を行うこと。
- 2 既存事業は、行政評価の結果を反映し、見直し・再構築を図るとともに、中核市移行により獲得した権限を最大限活用し、創意工夫あふれる、効果・効率的な事業構築を行うこと。
- 3 国・東京都の動向を注視し、最新の情報を捕捉して効果的に活用すること。
- 4 市議会の審議結果はもとより、市民の市政に対する意向を反映するよう努めること。
- 5 第8次行財政改革大綱に掲げた目的を達成するための取組を反映すること。